

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名： 一般国道460号 白井橋		事業区分： 一般国道	事業主体： 新潟県
起終点： 自：新潟県新津市子成場 至：新潟県白根市白井		延長： 1.6 km	
事業概要： 一般国道460号は、新潟県新発田市を起点とし新潟県柏崎市に至る幹線道路である。白井橋は現道の幅員狭小、線形不良及び潜橋を解消し、地域間を連絡する幹線道路整備を通じて都市機能向上の支援、日常生活圏の連携強化を図る。			
昭和60年度事業化	都市計画なし	平成3年度用地着手	平成7年度工事着手
全体事業費	約90億円	事業進捗率	61%
計画交通量	8,700台/日		
費用便益比	B / C (事業全体) 1.2 (残事業) 3.9	総費用： (残事業)/(事業全体) 30/94 億円 (事業費：28/93 億円 維持管理費：2/2 億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 116/116 億円 (走行時間短縮便益：101/101 億円 走行費用減少便益：12/12 億円 交通事故減少便益：3/3 億円)
基準年： 平成15年			
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害の備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり） 他7項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見： 新津市は、白根市らと共に「国道460号線整備促進期成同盟会」を組織し、国・県に対し積極的に要望活動を行っている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等： 特になし			
事業の進捗状況、残事業の内容等： 用地買収をほぼ完了し、今年度0.3kmの部分供用を予定。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等： 当該施工区域は県内でも有数の軟弱地盤地帯で、部分的に想定以上の脆弱な地質を含有しており、周辺地盤・家屋等への細心の配慮をしながらの施工であることから、地盤改良と併せて多大な労力と時間を有してきたところであるが、用地買収もほぼ完了したことから今後の事業促進を図る。			
施設の構造や工法の変更等： プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。			
対応方針： 事業継続			
対応方針決定の理由： 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図： 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。